

中テーマ	小テーマ	中学校 社会 (東京書籍)	
		単元名等	活用場面及び活用の仕方
海の恵み	海の産物	【地理】 第1章 さまざまな面から見た日本 4 世界と日本の産業・資源 世界と日本の林業と漁業 (地理; P160 ~ 161)	展 開 「海の産物」を見て、マグロ・カツオ・ブリの漁獲量が日本有数であることを活用し、日本の漁業に関心をもたせる。
	海がつくった景色	【地理】 第1章 さまざまな面から見た日本 1 日本の自然環境 日本の地形 (地理; P130 ~ 131)	終 末 「海がつくった景色;馬ヶ背」を見て、リアス式海岸の一つとして、県の北部が入ることを補足説明する。
山の恵み	透き通った水	【地理】 第1章 さまざまな面から見た日本 4 世界と日本の産業・資源 発展する様々な産業 (地理; P164 ~ 165)	終 末 「透き通った水のふるさと」を見て、霧島山系の湧水群の一つ「出の山湧水」では、その水を利用して、ニジマスやチョウザメの養殖を行っていることを補足説明する。
	山の産物	【地理】 第1章 さまざまな面から見た日本 4 世界と日本の産業・資源 世界と日本の林業と漁業 (地理; P160 ~ 161)	終 末 「全国に誇る宮崎のしいたけ」を見て、自然林の減少で衰退気味であるが、宮崎の椎茸生産量は、我が国有数であることを活用して、林業に関心をもたせる。
	山のけしき	【公民】 第5章 地域社会とわたしたち 1 国際問題と地球市民 地球環境問題を考える (公民; P130 ~ 131)	導 入 「宮崎百山」を見て、豊かな自然が残っている宮崎をととして、環境問題に関心をもたせる。
川の恵み	宮崎の川	【地理】 第1章 さまざまな面から見た日本 1 日本の自然環境 日本の地形 (地理; P130 ~ 131)	導 入 「宮崎の川」を見て、日本の地形について関心をもたせる。

中テーマ	小テーマ	中学校 社会 (東京書籍)	
		単元名等	活用場面及び活用の仕方
天と大地の恵み	宮崎の果物・花	【地理】 第1章 さまざまな面から見た日本 4 世界と日本の産業・資源 変化する日本の農業 (地理; P158 ~ 159)	展 開 「温暖な宮崎の気候がもたらした新しい農業～スイートピー」を見て、施設園芸農業の発展する中、宮崎のスイートピーが、日本1位の生産であることを知り、日本の農業に関心をもたせる。
	宮崎の野菜・米・茶	【地理】 第1章 さまざまな面から見た日本 4 世界と日本の産業・資源 変化する日本の農業 (地理; P158 ~ 159)	展 開 「生産量日本一のピーマン」を見て、施設園芸農業の発展する中、宮崎のピーマンが、日本1位の生産をあげていることを知ることとおして、日本の農業に関心をもたせる。
	大地に遊ぶ動物たち	【公民】 第5章 地域社会とわたしたち 1 国際問題と地球市民 地球環境問題を考える (公民; P130 ~ 131)	導 入 「大地に遊ぶ動物たち」を見て、環境問題に関心をもたせる。
宮崎人の唄と舞と踊り	感謝の舞	【地理】 第1章 さまざまな面から見た日本 2 日本人のくらし くらしの変化と進む国際化 (地理; P142 ~ 143)	終 末 「感謝の舞」を見て、日本独自の文化や習慣を見直す動きの一例として補足説明する。
宮崎の絵画・工芸・建造物	伝承・伝説に残る宮崎の建造物	【歴史】 第2章 古代までの日本 2 古代国家の歩みと東アジア世界 律令国家の成立 (歴史; P36 ~ 37)	終 末 「神門神社」を見て、白村江の戦いに敗れた百済の王族が宮崎の地に流れ着き、木城町と南郷村に百済伝説が残ることを補足説明する。

中テーマ	小テーマ	中学校 社会 (東京書籍)	
		単元名等	活用場面及び活用の仕方
いにしえの人の夢のあと	豪族の眠り	【歴史】 第2章 古代までの日本 2 文明のおこりと日本の成り立ち 大王の出現 (歴史;P26～27)	終末 「西都原古墳群」を見て、宮崎の古墳について補足説明する。
	大地に眠る城跡	【歴史】 第3章 中世の日本 2 東アジア世界とのかかわりと社会の変動 民衆の成長と戦国大名 (歴史;P62～63)	終末 「戦国時代の宮崎」を見て、戦国時代の宮崎の主な城について補足説明する。
	住まいのあと	【歴史】 第2章 古代までの日本 1 文明のおこりと日本の成り立ち 縄文文化と弥生文化 (歴史;P20～21)	終末 「住まいのあと」を見て、この頃の宮崎の遺跡について補足説明する。
心を表現した人	若山牧水	【歴史】第5章 開国と近代日本の歩み 3 日清・日露戦争と近代産業 近代文化の形成 (歴史;P148～149)	終末 「若山牧水」を見て、近代文学の発展の中、宮崎を代表するだけでなく、国民的な歌人であることを補足説明する。
知(医学・学問)について研究した人	安井息軒	【歴史】 第4章 近世の日本 3 産業の発達と幕府政治の動き 新しい学問と化政文化 (歴史;P106～107)	終末 「安井息軒」を見て、この頃の宮崎県の儒学者で、私塾の門下生に明治で活躍する陸奥宗光らを育てたことを補足説明する。
	高木兼寛	【歴史】 第5章 開国と近代日本の歩み 3 日清・日露戦争と近代産業 近代文化の形成 (歴史;P148～149)	終末 「高木兼寛」を見て、明治時代、難病と言われた脚気から人々を救い、後にビタミン発見の先駆者といわれる高木兼寛について補足説明する。

中テーマ	小テーマ	中学校 社会 (東京書籍)	
		単元名等	活用場面及び活用の仕方
夢に向けて 生きた人	村杜講平	【歴史】 第6章 二度の世界大戦と日本 1 第一次世界大戦とアジア・日本 新しい生活と文化 (歴史;P162～163)	終末 「村杜講平」を見て、この頃、大正末から昭和初期にかけて、長距離ランナーとして国内外で活躍し、1936年のベルリンオリンピック1万メートルで4位入賞を果たした村杜講平について補足説明する。
	後藤勇吉	【歴史】 第6章 二度の世界大戦と日本 1 第一次世界大戦とアジア・日本 新しい生活と文化 (歴史;P162～163)	終末 「後藤勇吉」を見て、この頃、大正末から昭和初期にかけて、我が国初の日本一周飛行に成功し、我が国初の生鮮農産物(日向カボチャ)の空輸に成功した後藤勇吉について補足説明する。
人々の幸せ のために努力し た人	石井十次	【歴史】 第5章 開国と近代日本の歩み 3 日清・日露戦争と近代産業 近代文化の形成 (歴史;P148～149)	展開 「石井十次」を見て、【児童福祉につくした人】の小単元で、石井十次の功績について深めさせる。
国や宮崎の 発展のために 尽くした人	岩切章太郎	【歴史】 第7章 現代の日本と世界 1 日本の民主化と国際社会への 参加 占領と日本の民主化 (歴史;P184～185)	終末 「岩切章太郎」を見て、戦後の様々な改革が行われる中、昭和25年には東京まで観光宣伝隊を送るなど、その後の『観光宮崎』の基礎をつくったことを補足説明する。
地域や国を 動かした人	小村寿太郎	【歴史】 第5章 開国と近代日本の歩み 3 日清・日露戦争と近代化 日露戦争 (歴史;P142～143)	展開 「小村寿太郎」を見て、宮崎県人初の外務大臣で、ポーツマス条約の全権大使を務めたことをとおして、日露戦争に興味をもたせる。